

JAIPA

Express

Vol.54

December 2021

CONTENTS

ご挨拶

レポート

JAIPA Cloud Conference 2021

部会報告

事務局通信

行事一覧

役員一覧

会員一覧

全国プロバイダー一覧

People,people

みなさま、こんにちは。JAIPA会長の久保でございます。

本年6月のJAIPA総会にて会田前会長の後任として就任して以降、4ヶ月が経過しました。この間も国内の新型コロナウイルス感染者数は一層拡大し、会員の皆さまにおかれましては企業としても、個人としてもそれぞれ大変なご苦労があったかと存じます。7月、8月には緊急事態宣言が継続される中での東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催されました。当初期待していた賑わい、海外の方々との交流なども実現できませんでしたが、その後ワクチンの接種が進み感染者数も減少、宣言も解除され、失われた日常を取り戻す営みが開始されつつあります。企業においても長らくの在宅勤務を経て、アフターコロナでの働き方を模索しながらの活動が始まりました。

インターネット領域の事業活動に目を向けますと、テレワークの拡大に伴うインターネット接続・クラウドに対するニーズやお客さまからのオンラインビジネスに関する相談・要請等の機会、その一方で飲食・旅行などリアル経済の停滞に影響を受けたWebビジネスなど、様々な影響があったかと存じます。我々の固定通信においても需要拡大の一方でトラヒックの一層の増大や利用者のプライバシー保護など、事業運営における様々な課題に直面していると存じます。

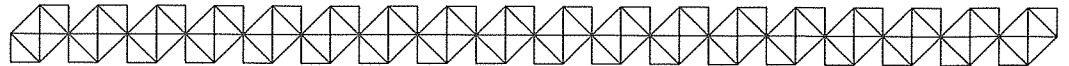
JAIPAではそうした様々な業界課題に対し総務省の各研究会での意見・提言をはじめ、各部会での活動、対外協議などを通じ解決に取り組んでおりますが、本年特に大きな影響が生じたのがNTT西日本のフレッツ受付システムの工事遅延でありました。こちらは3月西日本のIRU地域においてフレッツの注文が受けられないとの状況に端を発し、その際は総務省への働きかけや報道発表等の対応により長期停止が回避されたものの、5月には同社のシステム更改作業における障害のため開通工事が規制され、以降その影響が継続しました。光コラボはNTT東西からの卸スキームによるサービス提供になりますが、当然の事ながら我々ISP各社はお客さまから厳しいお叱り・クレームを受けました。お客さま信頼のもと、インターネットにつなぐ事を使命とする事業者にとって危機とも言える事態の中、JAIPAでは団体交渉WGにて毎週NTT西日本と協議を実施し、関係者にて逐次やり取りを続けました。本件は未だ解決の途上ではありますが、精力的に折衝いただいた団体交渉WG参画の皆さま、アンケートや情報提供にてご協力をいただいた皆さまに大変感謝申し上げます。NTTは我々ISPにおける重要なパートナーですので、今後とも円滑な対話を通じ、引き続き関係者の皆さまと課題の解決に取り組んで参りたいと考えております。話は変わりますが、先日ITベンチャーが集まる会合に参加しました。私は以前投資ファンドの運営を行っておりましたが、ベンチャーもコンシューマ向けのゲームやメディアビジネス等から現在は不動産や介護、医療、旅行業界など様々な業界でBtoBのDXにより社会変革を目指す企業が多く見受けられました。またブロックチェーン技術を活用したNFT（仮想通貨）マーケットプレース、メタバース（仮想空間）におけるコンテンツの立体化などインターネットの事業機会は更に拡がりを見せています。一方で彼らと話してみると、若いチャレンジャー達はインターネットやクラウドはつながって当たり前、日本全国快適に利用できると信じて疑わない方が大半でした。ISPって何ですか？と聞く人からすると当然かも知れないのですが、日常を豊かに彩るコンテンツを支え人々の生活に寄り添う通信は、皆さまの日々のインフラの運用・当たり前を実現するご努力で支えられています。ユニバーサルな接続環境の実現や地域格差の生じない接続品質・利用条件の確保、消費者保護への取り組み、GAFA主導の競争環境への対処など課題は多く、公平でオープンなルールの策定などJAIPAの果たす役割はますます重要になっていると考えております。

長らくのテレワークでJAIPAの会合もオンラインが定着し、リアルイベントも延期になる中、9月に開催されたイベント「JAIPA Cloud Conference2021」は様々な業界関係者の参画による有意義なプログラムで参加者1,100名を超える大盛況となりました。開催に尽力されたクラウド部会の皆さまに感謝申し上げますと共に、各社若手メンバーの参画による取り組みは、部会活動での連携や協会全体の活性化にも参考になると感じています。イベントは沖縄ICTフォーラムも再開され、今後ISPの集いも予定されておりますので、感染防止対策を徹底の上、ぜひ積極的にご参加ください。JAIPAは引き続き業界の発展および一層の消費者保護、および新たな事業機会等に向け活動を進めて参りたいと存じます。

最後になりますが、会員企業の皆さまの益々のご発展を祈念致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。今後ともJAIPAをどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
会長 久保 真





JAIPA Cloud Conference 2021 開催レポート

JAIPA Cloud Conference 2021実行委員長

岩下 佳由

2021年9月2日（木）、クラウド部会主催の「JAIPA Cloud Conference 2021」（以下、クラコン）を開催し、過去最高の実績を記録するなど、大盛況のうちに終了いたしました。

クラコンの開催は今回で9回目となりましたが、昨年引き続き、各社若手社員を中心にオンライン開催での準備を進めて参りました。

本稿では、簡単にはございますがイベント当日の様子やイベント準備の裏側をレポートいたします。



JAIPA Cloud Conference 2021実行委員

イベント概要

名称	JAIPA Cloud Conference 2021
URL	https://cloudconference.jaipa.or.jp/
日時	2021/9/2（木）
開催形態	オンライン（参加費無料）
主催	一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会クラウド部会
後援	総務省、経済産業省、関連団体

実績と振り返り

関係者皆様のご協力により、Covid-19の世界規模の感染拡大による影響がありながらも、無事にオンラインでの開催を実施することができました。

クラコンでは、昨年引き続き、過去最大の申込数を更新し、1,164名の申込みを記録いたしました。特にオンラインでの開催により地理的な制約がないことから、例年に比べ首都圏以外のお申込みも前年比5%以上増加したことで、初めてのお申し込みも全体約8割（約800名）を超え、新規お申し込み

申込登録者数	1,164名
講義資料／パンフレットダウンロード数	5,347件
ピーク時視聴数	350名
満足度	97.7%
首都圏以外の申込	24.0%
スポンサー	44社
後援団体	20団体
メディアスポンサー	5媒体

も大幅に獲得したことが特筆すべき点であったと思います。

その他、今回のクラコンでの新たな取り組みとして、以下挑戦も致しました。

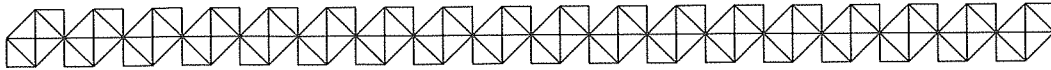
- ・ 独自配信PFの開発とマルチトラック配信獲得
⇒ 様々な視聴データを取得可能に
- ・ 広告クリエイティブの制作及び内製化
⇒ 制作コストの削減と新規申込者数の大幅な獲得

開催に向けたチームを2021年1月に立ち上げて以降、開催まで多大なるご協力を頂きました、スポンサー企業の皆様、関連団体の皆様、企画委員の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

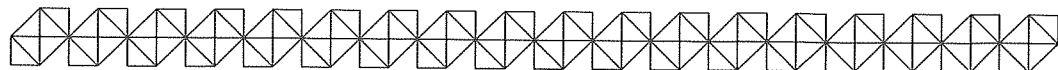
例年よりもセッション数倍増の24講演（2020年12講演）とマルチトラック配信を導入したこともあり、配信開始時から多くの方々に視聴いただき、デジタル省セッション開始時には350名近くの同時視聴数を記録しました。

今回過去最高の申込数（1,164名）を記録し、地方（東京・神奈川・千葉・埼玉を除く）からの申込みも昨年に比べ、約5%もアップしたこともあり、オフライン開催時（2019年以前）と比べても、多くの方にコンテンツをお届けすることができたのではないかと思います。（首都圏以外の申込率2019年：7.2%→2020年：18.6%→2021年：24.0%）

また、コンテンツとしてはCovid-19の流行に伴うクラウド、DXの今後を語るセッションや、デジタル庁や行政、セキュリティ、脱ハンコ、量子コンピュータ、都市デザイン、教育、チームビルディング、経営者パネル等多様な切り口での講演が一度に聞ける場として、参加者の方々にはご満足いただけたのではないかと思います。（アンケート満足度97.8%）



09:00▶09:10	<p>開会挨拶</p> <p>一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会 クラウド部会 部会長 兼 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 代表取締役社長 青山 満 氏</p>	
09:10▶09:50	<p>総務省：「マイナンバーカードの機能のスマートフォン搭載について」</p> <p>総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報流通高度化推進室・課長補佐 小村 将之 氏</p>	
09:50▶10:05	<p>スポンサー：「DCインフラに革命は再来するか？～ SmartNICネットワークの民主化」</p> <p>日本ヒューレット・パカード合同会社 プリセールスエンジニアリング統括本部 テクノロジー・エバンジェリスト 小川 大地 氏</p>	
10:05▶10:45	<p>経済産業省：「デジタル時代に求められる人材とは」</p> <p>経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐（総括） 松本 理恵 氏</p>	
10:55▶11:35	<p>デジタル庁：「デジタル庁の役割とその目指す方向」</p> <p>内閣官房 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室 内閣審議官 富安 泰一郎 氏</p>	
11:35▶11:50	<p>スポンサー：「エッジコンピューティング時代に適した、k8sのための包括的なデータサービスプラットフォーム Portworx」</p> <p>ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社 クラウドアーキテクト（Portworx） 溝口 修 氏</p>	
11:50▶12:20	<p>スーパーコンピュータ：「スーパーコンピュータ「富岳」性能ランキング1位までの道のり！」</p> <p>富士通株式会社 未来社会&テクノロジー本部 マネージャ 加瀬 将 氏</p>	<p>脱ハンコ：「急伸するクラウド型電子契約、利活用の実情と課題・今後の展望について」</p> <p>SMBCクラウドサイン株式会社 代表取締役社長 三嶋 英城 氏</p>
12:30▶13:00	<p>プラットフォーム：「プラットフォーム問題のこれまで、そして、これから」</p> <p>読売新聞東京本社 編集委員 若江 雅子 氏</p>	<p>オフィス移転：「2021年のオフィストレンド予測」</p> <p>住友不動産株式会社 ビル事業本部 ビル営業二部 部長 兼松 公彦 氏</p>
13:00▶13:15	<p>プラチナスポンサーセッション：「マルチクラウド時代のインフラストラクチャの最適解」</p> <p>ニュータニックス・ジャパン合同会社 システムエンジニアリング事業本部 戦略・通信・メディアSE本部部長 清水 亮夫 氏</p>	
13:15▶13:45	<p>医療イノベーション：「クラウド医療のDx：XR(VR/AR/MR)・テレプレゼンス・オンライン医療」</p> <p>Holoeyes株式会社 Cofounder COO, CMO 帝京大学沖永総合研究所 教授 杉本 真樹 氏</p>	<p>量子コンピュータ/量子インターネット：「量子コンピュータと量子インターネットがある世界」</p> <p>株式会社メルカリ R4D シニアリサーチャー 永山 翔太 氏</p>
13:45▶14:00	<p>プラチナスポンサーセッション： 「二極化するDX 生き残るために企業がとるべきアクションとは」</p> <p>株式会社インフォメーション・ディベロップメント 山陰事業部 クラウドマネージドセンター センター長 三好 敏明 氏</p>	
14:00▶14:30	<p>セキュリティ： 「あるCSIRTの戦い 中国ハッカーとの攻防」</p> <p>株式会社朝日新聞社 編集委員 須藤 龍也 氏</p>	<p>脱ハンコ：「2025年のデジタルID社会とは ～電子契約No.1事業者が見る、ニューノーマル時代の新たな社会基盤とは～」</p> <p>GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 常務取締役 DX事業担当 山田 裕一 氏</p>



14 : 40▶15 : 10	ICT・セキュリティ：「日本における ICT&セキュリティ技術の生産手段確立と産業化の実現」 東日本電信電話株式会社／独立行政法人情報処理推進機構／ソフトイーサ株式会社 登 大遊 氏	チームビルディング 「異能同士を組み合わせ最強のポケモンマスターになるために ～優れた可能性を持つ“個”の心を孤立させるな！みんな違うからこそ最高のプロダクトは生まれるマル秘チームマネジメント術～」 エバンジェリスト 常盤木 龍治 氏
15 : 10▶15 : 25	プラチナスポンサーセッション：『「New Normal」時代に求められるクラウド戦略とは ～変化に強い、勝ち抜くIT実現のために～』 デル・テクノロジーズ株式会社 クラウドスペシャリストチーム プリセールス 平原 一雄 氏	
15 : 25▶15 : 55	デジタル時代のユニバーサルデザイン：「デジタル社会に求められるユニバーサルデザイン」 株式会社ミライロ 代表取締役社長 垣内 俊哉 氏	都市計画：「アフターコロナ時代のまちづくりと都市・地域デザイン」 立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 准教授 阿部 俊彦 氏
16 : 05▶16 : 35	学校教育：「15歳に多様な選択肢を ～人間の未来を変える神山まるごと高専の挑戦～」 神山まるごと高専（仮称・設置構想中） クリエイティブディレクター 山川 咲 氏	サイバーセキュリティ経営ガイドライン：「サイバーセキュリティ経営の実現に向けた政策について」 経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長補佐 原田 典明 氏
16 : 45▶18 : 15	経営者パネルディスカッション： 「クラウド事業の経営者が見ていたクラウド誕生からの10年と今後10年について」 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 代表取締役社長／JAIPAクラウド部会 部会長 青山 満 氏 さくらインターネット株式会社 代表取締役社長／JAIPA常任理事、クラウド部会 副部会長 田中 邦裕 氏 株式会社クララオンライン 代表取締役社長／JAIPAクラウド部会 副部会長 家本 賢太郎 氏 富士通クラウドテクノロジーズ株式会社 執行役員副社長 上野 貴也 氏 KROW株式会社 代表取締役社長／JAIPAクラウド部会 副部会長 宮内 正久 氏	
18 : 15▶18 : 25	閉会挨拶 さくらインターネット株式会社 代表取締役社長／JAIPA常任理事、クラウド部会 副部会長 田中 邦裕 氏	

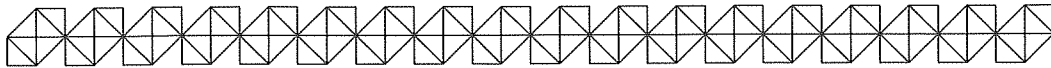
クラコン2020実行委員会

2021年のクラコンでは昨年に引き続き、緊急事態宣言下ということも多く、直接集まるのが難しい中、ほぼ初対面の各社実行委員とオンライン会議を重ね、準備を実行してきました。

本来、クラコンはクラウド関連事業者やユーザに対して、

新しいビジネスや各社の経営計画のヒントとなるコンテンツを届けるだけでなく、JAIPA会員企業の同業、同世代が繋がり刺激を与え合う場でもあります。

直接つながりを作る機会が少なくなってしまったことありますが、新たなコミュニケーションの取り方や仕事の進め方など確立できつつあるとは感じております。



そして、このような大変な状況下で通常業務をこなしながら、一緒に挑戦して下さった実行委員の皆様、実行委員メンバーを選出していただいた企業の皆様には、改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

今回の経験を通常業務に活かすとともに、願わくば、またクラコンに携わっていただき、クラウド部会を盛り上げていただけることを期待しております！

クラコン2020実行委員一覧

実行委員名	会社名	担当
岩下 佳由	GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社	実行委員長
左部 真也	NTTコミュニケーションズ株式会社	副実行委員長
寺尾 英作	SBクラウド株式会社	配信
岡田 祐希枝	株式会社フィックスポイント	配信
羽岡 隆平	NTTコミュニケーションズ株式会社	スポンサー
堀口 亮	AXLBIT株式会社	スポンサー
末成 彩佳	株式会社Geolocation Technology	Web
本田 雄亮	合同会社DMM.com	Web
三浦 拓也	一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター	プログラム
富永 聡司	合同会社DMM.com	プログラム
浅田 秋恵	さくらインターネット株式会社	プログラム
大寄 昌子	さくらインターネット株式会社	プログラム
大山 凌加	株式会社フィックスポイント	プログラム
陳 欣盈	SBクラウド株式会社	広報
三上 真平		広報
飯塚 忍	株式会社まほろば工房	広報
尾作 有香	株式会社ネットフォレスト	広報
増田 悠里	株式会社フィックスポイント	広報

開催までの軌跡

	日程	場所
第1回	12/16 (水) 18:00-	リモート
第2回	1/14 (木) 18:00-	リモート
第3回	2/4 (木) 18:00-	リモート
第4回	3/4 (木) 18:00-	リモート
第5回	4/8 (木) 18:00-	リモート
第6回	5/13 (木) 18:00-	リモート
第7回	6/3 (木) 18:00-	リモート
第8回	7/1 (木) 18:00-	リモート
第9回	8/5 (木) 18:00-	リモート
第10回	8/18 (水) 18:00-	リモート
直前	8/26 (木) 18:00-	リモート
配信準備	8/30、31 (月、火) 終日	Bangarrow
リハーサル	9/1 (水) 終日	Bangarrow
当日	9/2 (木) 終日	Bangarrow

次回開催について

クラウド部会では、現在JAIPA Cloud Conference 2022の開催に向けて、実行委員会を発足し、企画の検討を行っています。

2021年をさらに超えるようなコンテンツを、より多くの皆様にお届けできるよう、2022年も皆様のご支援、ご協力を是非ともよろしくお願いいたします。

開催時期：2022年9月8日（木）

会場：オンライン開催予定

テーマ：未定

以上



JAIPA 部会活動について

当協会の活動指針に「JAIPAは部会を通じた会員による主体的な活動により、事業者が単独ではなしえない、インターネット業界共通の利益のための活動を積極的に展開します。」とあるように、事業者間で情報共有・意見交換をしつつ活動をしています。活動の中心になるのは、「部会」となり、当協会には6つの部会が立ち上がっております。

1. 行政法律部会
2. 地域ISP部会
3. クラウド部会
4. インターネットユーザー部会
5. 女性部会
6. モバイル部会

それぞれ、部会長・副部会長（インターネットユーザー部会のみ「運営委員メンバー」6名）がおり、毎月の会議の議案、司会等をして運営しています。では、それぞれの部会のご紹介。

■行政法律部会

行政法律部会は、ISPやホスティングサービス事業者に係わる法律上及び行政上の諸問題に対して、行政庁との連携や協会会員への情報提供などを活動の中心となっています。また、事業者団体が中心になって活動をしている会議や、総務省主催の会議が多数有り、部会の主要メンバーが参加し、部会で展開していただくことで、活発な意見交換を行っております。この部会は設立当初（1999年）から活動しており、長く続けている部会です。20年前は法整備などが今より不十分で部会メンバーで勉強会や意見交換会などをして、続けてきています。今年度から長年部会長をさせていただいていた木村さんが当協会事務局長となり、これも長年副部会長だった野口さんが部会長に就任されました。さらに最近、slackの活用が多く、会員間の意見交換が頻繁に行われて、タイムリーな意見交換がされています。なんていうか、競合他社なんだろうが、「こんなとき、どうしてます?」「これって、来ましたか?」「うちはこんな感じの対応です」など、とても良い関係が築けている部会だと思えます。

■地域ISP部会

地域ISP部会も行政法律部会同様に設立当初からある部会で、この協会を立ち上げたメンバーが多く参加しています。毎年数回地方で「ISPの集い」として地域ISP部会が企画を行っていましたが、JAIPA全体のイベント「JAIPAの集い」として独立しました。しかし、今まで通り当部会が大きく絡んで企画しています。コロナ禍でなかなか「集い」開催が出来なく外向けの活動が出来てないのが悩みです。毎月の部会もオンラインのみの開催で、実際にお目にかかれたいのは残念ですが、地方からわざわざ出てこなくても参加できるというメリットは出てきたのかなという感じです。でも画面越しはすこし遠いので参加者が聞いているだけでなく、活発な意見交換が出来るよう進めて行ければと思います。ISPの課題としてNTT東西との深刻な問題は相変わらず続いており、悩みは尽きません。NTT問題は地域ISPだけではなく、JAIPA全体としての課題です。地域独自の取り組みなども情報共有しています。

■クラウド部会

クラウド部会は、「レンタルサーバ部会」として2002年に部会が始まりました。2008年には「ホスティング部会」と名称変更、2011年9月に「情報セキュリティ部会」を取り込みつつ、「クラウド部会」という名前に変更しました。インターネットはつなげることからしばらくは情報収集として日常社会への浸透していきました。そして利用形態も情報収集だけでなく、コミュニティへの参加、情報の発信など、幅を広げています。多様な利用をする人々が多くなり、セキュリティも日々進化している事への対応など、「クラウド」を中心に運用面、技術面等を含めた検討をしています。そして毎年クラウドサービスプロバイダ（IaaS/PaaS/SaaS）、システムインテグレータ、ソリューションベンダーの多くが参加し、クラウド業界の“未来”について知見を深めるイベント「Cloud-Conference」を開催しています。内容については、こちらをご覧ください。<https://cloudconference.jaipa.or.jp/>

【地域ISP部会】と【クラウド部会】は隔月でJPCERT/CCとの情報共有の場を設けております。



■インターネットユーザー部会

インターネットユーザー部会は、これまた複雑で、設立当初は「ユーザー部会」が設置され活動をしていました。2002年にブロードバンド時代到来！ということで、その普及啓発、ブロードバンド接続の普及に伴い生じる諸問題について協議するため発足したのが「ブロードバンド普及促進部会」、ユーザー対応問題があることから、2004年にこの部会に吸収されました。そして、2005年には「ユーザー利用促進部会」と改名し、2011年にはすでに、「利用促進」でもないだろうと、「インターネットユーザー部会」になったわけです。事業者にとってはユーザー対応は重要なんですが、なかなか重いものがあります。総務省担当課からは、「ユーザー」という言葉をいれてほしいといわれるほどです。そんな部会ですが、他部会と違うところは、部会長・副部会長制度ではなく「運営メンバー」6名で毎月の部会を分担して司会進行しています。これはこれで、すごくスムーズに行われていて2週間前に議題が出て、メンバーで確認してメーリングリストに案内する。という感じで常にメンバーで意思疎通を行い運営しています。会議メモをご覧ください、その特徴が出ています。こちらも行政法律部会同様、各社の対応などを情報交換を活発にしている部会です。

■女性部会

女性部会のはじまりは、初代部会長「小林洋子様」にうちの社員を合わせたい、という要望から数名で集まり食事をしたことがきっかけで、2006年に「女性部会」として立ち上がりました。インターネット事業の中で働く女性たちが、企業の枠組みを超え、競合という立場を踏まえつつもお互いの会社の良いところ（環境・制度・取り組みなど）を共有して自社に持ち帰り、改善活動につなげていけることを考え、進めています。「女性部会」としたことで、逆に自分たちで区別をしているような気もしますが。時代の流れを見据え、最終的には、「女性だから」「男性だから」ということにはとらわれず一個人として誰もが働きやすい環境、さらに自社内で狭くなりがちな視野を広げられる気づきの場として、活用できる部会するよう目指しています。特に勉強会には力を入れており、様々なジャンルの勉強会をしてJAIPA会員へ案内しています。

■モバイル部会

モバイル部会は、時代とともにPCからモバイルへという流れはだいぶ前からありました。MVNO市場は成長市場となっている今、ISP(特に地域ISP)の新たな収益事業開拓として必要では無いか。とのことで、移動体の知識、ノウハウを蓄積し、情報交換・協業の場として2014年に立ち上がりました。情報収集としては、毎月の部会で勉強会を行っており、意見交換をしています。FaceBookのグループをつくりそこで、日々気になるニュースを蓄積しそのニュースについて、知っている人は解説をして、メンバーで情報共有をしています。このスタイルはのちにクラウド部会でも行うこととなりました。

以上、書いていたらご紹介って感じでもないかと思いつつ、まだ部会に参加されていない方が多くいらっしゃるの、参加していただけたら嬉しいと思い、つたない文書を書きました。それぞれ、ハイブリッドで開催していますので覗いていただければ幸いです。各部会のメーリングリストがありますので、そちらに会議開催案内をお送りしています。ご興味ありましたら事務局までご連絡ください。なにとぞ、よろしくお願いいたします。

会員増への取組を開始

10月5日に開催された運営委員会の資料にあります。JAIPAでは発信力の強化、若手参加による活性化、業界変化への対応、新しいビジネスの取り込みなどを目的として会員増に取り組むことを計画しています。

ただやみくもに会員を増やすのではなく、今後時間をかけて来年の総会までのタイムスパンで、運営委員会メンバーなどを中心にして検討を進めていこうと考えています。また、各部会からも交代で毎月の運営委員会や理事会の場を活用して、JAIPAへの要望や意見をヒアリングしていく予定です。JAIPAの主役は会員ですので、当然会員の皆様からも意見、要望をお寄せいただく機会を設け、小規模なミーティングなどを会長とも開催することを考えています。

JAIPAが設立されて約22年となりますが、今まで活動内容にあまり変化が見られなかったと思います。この間のインターネットの発展や環境変化を考えると、ありえないことと思います。会員数が長期に渡って減少傾向にあるのもそのような活動状況に加え、会員獲得にもそれほど積極的でなかったことがあると思います。

加入必須の業界団体ではありませんし、JAIPAに加入しなくてもISPなどの事業は行うことができます。加入のメリットはホームページの入会案内に色々書いてありますが、JAIPAも間口、活動の幅を広げ、活動を外部にアピールする必要があります。また、JAIPAの中核に関わる人々も高齢化が進み、今後の発展を考えると若返りを図る必要があります。若い会社には若い人も多く、そういう会社は接続サービスよりはインターネット関連サービスに多くいると思われれます。接続サービスと並ぶもう一つの核であるクラウドサービスにおいてもクラウドカンファレンスの実行委員として活躍する若手の活動を見ても、大変参考になります。最新の知識という面では及ばなくても、若い会社に対しJAIPAの知識、経験、人脈といったものが役に立つ機会はあると思います。

ところでJAIPA事務局の活動も少しずつですが、修正をしています。例えば、総務省などの官庁から依頼される周知連絡、今まではその都度行ってきましたが、あまりに数が多く会員の皆様には煩わしい可能性を考慮し、急ぎのもの以外は週に1回程度にまとめて案内するように心がけています。JAIPAの運営委員会や理事会、部会その他の活動についても月に1回最終日にまとめて案内するようにしています。

JAIPA事務局にはまだ色々至らない点もあると思います。皆さまからのご指摘やご提案をいただければ大変うれしく思います。上に書きましたJAIPAに対する意見、要望の場所については、ホームページやJAIPA Newsなどで案内しますので、よろしくお願いします。

最近のJAIPAの主な活動

昨年より月に1回程度のペースでNTT東日本、西日本との団体協議というのを行っていますが、5月に発生したNTT西日本のFTTH工事受付システム更改の障害を受けて、西日本地域におけるFTTHの工事受付に混乱が生じ、工事までの期間が長期に渡るなどの問題がでたことから、8月はほぼ毎週のようにNTT西日本と団体協を行いました。

総務省の消費者保護ルールの在り方に関する検討会で、消費者保護ルールの省令やガイドラインの改正が検討され、また新たに、裁判外紛争解決(ADR)も視野に入れた「苦情相談処理体制の在り方に関するタスクフォース」が設立されました。JAIPAではインターネットユーザー部会を中心に対応しています。

7月から8月にかけては、総務省の意見募集に対し、研究会の報告書案への意見書を5件提出しました。意見書はJAIPAホームページの「当協会の意見」でまとめてあります。

JAIPAの国際活動(IGF¹とAPNICでの活動について)

9月30日にネパールのカトマンズで行われたAPrIGF(インターネットガバナンスについてのアジア太平洋地域の年次会議)でJAIPAが漫画村問題のセッションを主催し、リモート(zoom)でJAIPA事務所から中継しました。立石副会長が司会をし、弁護士森先生、東大の穴戸先生、総務省消費者行政第二課の小川課長が発表しました。セッションに参加した人はほとんどが海外の方で、ピーク時で68人でした。海賊版サイトブロッキングについて海外の方からの関心も高く、質問も多数あり、チャット欄でも好評でした。

9月14日 APNIC52会合で松本理事(ゲーム・エンタメNW接続性課題検討WG主査)がIPv6 Developmentのセッションで登壇し、日本のIPv6周りで起こっているゲーム関係の課題について説明しました。発表直後は資料ダウンロードサイトがビジーになるほど大きな反響がありました。資料を下記で公開してあります。

<https://www.jaipa.or.jp/active/gamingnw-wg/>

新型コロナウイルス対策 緊急事態宣言終了（9月末） を受けてのJAIPAの体制

在宅勤務を併用した事務局員の勤務体制は今後も継続します。

部会、WGについてはリアル開催も可能ですが、オンライン開催も定着していますので、リアルの場合はオンラインのハイブリットとします。

理事会や運営委員会もまだしばらくオンライン開催が主体となる感じです。

（オンラインは移動が不要なので、オンライン開催になれば、却ってオンラインの方がリアルよりもやりやすい感じもします。）

8月より石前義行さん（元ビッグロブ株式会社、インターネットユーザー部会運営グループメンバー）に、消費者問題担当としてJAIPA事務局を手伝っていただくことになりました。石前さんには、総務省の消費者関係の会議に参加いただいたり、インターネットユーザー部会の運営をサポートしていただくこととなります。

2022年1月の賀詞交歓会は行う方向ですが、詳細は別途メールで案内しますのでお待ちください。

毎月月末にお送りしています、JAIPA newsを使って、会員の皆様からのお知らせのコーナーを設けたいと思います。この場を使ってJAIPA会員にアナウンスをご希望のかたは事務局info@jaipa.or.jpまで【アナウンス希望】と題名につけてお知らせください。

i IGFは2005年11月にチュニジア・チュニスで開催された世界情報社会サミット（World Summit on the Information Society, WSIS）チュニス会合をきっかけとして始まった、インターネットガバナンスの問題に関し、いろいろな立場の関係者（マルチステークホルダーといえます）の間で政策対話を行う国際連合管轄のフォーラムです。IGFの会合は、世界各国で地域や国単位で2006年以降毎年開催されています。

日本にはJAIPAが事務局をしているIGF Japanと、JPNICが事務局をしている日本インターネットガバナンス会議（IGCJ）があり、それらをまとめたものとしてJapan IGFが存在し、活動を行っています。

IGFでは、インターネット上の諸問題、例：IPアドレスやドメイン名など）、表現の自由、違法情報対応、セキュリティ、クラウドと各国の法制度、などが討議されています。最近では仮想通貨のガバナンスやサイバー規範、IoTセキュリティ、IPv6などの問題も議論されています。IGFでは結論は出さないのでありますが世界的な議論を通じ、今後世界におけるインターネットのルール化において重要な役割を果たすものと考えられています。そのため、日本からもこのような問題に関心の高い団体や企業、官庁から代表が参加して各国代表と議論を交わしています。

APrIGFは、2010年に香港で始まり、2021年は11回目です。日本では2012年に第3回を東京の青山学院大学で開催され、このときはJAIPAが主体となったIGF Japanがホストしました。

【意見書提出】

- 2021年代半ば頃に向けた電気通信事故の報告・検証制度等の在り方に関する意見を提出（2021年4月9日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210409.pdf
- 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見を提出（2021年4月26日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210426.pdf
- 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見募集の結果及び再意見書を提出（2021年5月14日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210514.pdf
- 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見募集に関する意見を提出（2021年6月28日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210628.pdf
- ブロードバンド基盤の在り方に関する研究会 中間取りまとめ（案）に対する意見を提出（2021年7月30日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210730.pdf
- 「接続料の算定等に関する研究会 第五次報告書（案）」に対する意見を提出（2021年8月2日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210802.pdf
- IP網への移行の段階を踏まえた接続制度の在り方～IP網への移行完了を見据えた接続制度の整備に向けて～最終答申（案）に対する意見募集「接続料の算定等に関する研究会 第五次報告書（案）」に対する意見を提出（2021年8月6日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210806.pdf
- 「消費者保護ルールの在り方に関する検討会報告書2021（案）」に対する意見を提出（2021年8月18日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_210818.pdf
- 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に関する意見を提出（2021年10月25日）
https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_211025.pdf

【INFORMATION】

- 「文部科学省GIGAスクール構想への支援サイト」の公開について（2021/3/12）
<https://www.jaipa.or.jp/topics/2021/03/giga.php>

行事一覧

4月

- 7日(水) 第109回クラウド部会
- 12日(月) 第207回行政法律部会
- 16日(金) 第64回モバイル部会
- 20日(火) 第145回運営委員会
- 21日(水) 第198回地域ISP部会
- 22日(木) 第161回インターネットユーザー部会

5月

- 12日(水) 第110回クラウド部会
- 17日(月) 第208回行政法律部会
- 18日(火) 2021年度第1回理事会
- 19日(水) 第199回地域ISP部会
- 25日(火) 第162回インターネットユーザー部会
- 26日(水) 第65回モバイル部会
- 24日(月) 第132回女性部会

6月

- 2日(水) 第111回クラウド部会
- 15日(火) 2021年定時総会
- 15日(火) 2021年度第2回理事会
- 18日(水) 第200回地域ISP部会
- 21日(月) 第209回行政法律部会
- 24日(木) 第163回インターネットユーザー部会
- 25日(金) 第66回モバイル部会

7月

- 7日(水) 第112回クラウド部会
- 16日(金) 第210回行政法律部会
- 20日(火) 第146回運営委員会
- 21日(水) 第201回地域ISP部会
- 29日(木) 第164回インターネットユーザー部会
- 30日(金) 第67回モバイル部会

8月

- 4日(水) 第113回クラウド部会
- 16日(月) (休会)第211回行政法律部会
- 25日(水) 第202回地域ISP部会
- 30日(月) 第68回モバイル部会
- 31日(火) 第165回インターネットユーザー部会

9月

- 2日(木) CloudConference2021
- 7日(火) 第147回運営委員会
- 13日(月) 第211回行政法律部会
- 22日(水) 第203回地域ISP部会
- 24日(金) 第69回モバイル部会
- 29日(水) 第166回インターネットユーザー部会

10月

- 5日(火) 第148回運営委員会
- 6日(水) 第114回クラウド部会
- 11日(月) 第212回行政法律部会
- 21日(木) 第204回地域ISP部会
- 29日(金) 第70回モバイル部会

役員一覧

会長

久保 真 ビッグロブ株式会社

副会長

佐々倉 秀一 NTTコミュニケーションズ株式会社
 西山 裕之 GMOインターネット株式会社
 立石 聡明 有限会社マンダラネット

専務理事

立石 聡明 有限会社マンダラネット

常任理事

植田 裕之 株式会社ネットフォレスト
 萩堂 盛修 株式会社TOKAIコミュニケーションズ
 小畑 至弘 IoT-Ex株式会社
 鎌倉 忍 ディーシーエヌ株式会社
 晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社
 田中 邦裕 さくらインターネット株式会社
 辻 大志 KDDI株式会社
 濱谷 規夫 ソフトバンク株式会社
 永田 勝美 株式会社NTTぶらら
 横田 洋人 株式会社アットアイ

理事

大津 康治 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
 今野 仁史 イーブロードコミュニケーションズ株式会社
 竹内 勝幸 株式会社シナプス
 林 一司 アルテリア・ネットワークス株式会社
 中山 いその 株式会社フューチャーネットワークス
 野口 尚志 EditNet株式会社
 福智 道一 BBIX株式会社
 本間 誠治 株式会社新潟通信サービス
 松岡 伸介 合同会社double A one
 松本 昇 株式会社シーエスファーム
 村田 篤紀 合同会社DMM.com

監事

秋山 卓司 クロスモバイル株式会社
 竹内 常夫 虹ネット株式会社
 中野 雄一 株式会社エヌディエス

名誉会長

渡辺 武経

(2021年11月30日現在)

会員一覧

■正会員 [140団体]

株式会社アイエフネット	株式会社インターネット尾張	株式会社大塚商会
株式会社IMS	インターネット・フューチャー株式会社	大槻電気通信株式会社
IoT-EX株式会社	インターネット・プロ東海株式会社	株式会社オキッ
株式会社アイキューブ・マーケティング	株式会社インターリンク	カゴヤ・ジャパン株式会社
株式会社IC-NET	エキサイト株式会社	関越ネットワークシステム株式会社
株式会社IDCフロンティア	株式会社STNet	株式会社KEE'S
株式会社アインシス・ジャパン	株式会社エディオ	特定非営利活動法人きたうら花ねっと
AXLBIT株式会社	EditNet株式会社	株式会社クオリティア
株式会社朝日ネット	株式会社エヌディエス	株式会社クララオンライン
株式会社アットアイ	株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	KROW株式会社
株式会社アット東京	NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社グローバルネットコア
アミック株式会社	エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社	株式会社クロストラスト
株式会社有明ねっこむ	株式会社NTTドコモ	クロスモバイル株式会社
アルテリア・ネットワークス株式会社	株式会社NTTPCコミュニケーションズ	株式会社クロノス
イーブロードコミュニケーションズ株式会社	NTTビズリンク株式会社	KDDI株式会社
イエスネット株式会社	株式会社NTTぶらら	株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ
イツ・コミュニケーションズ株式会社	エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社	株式会社ケー・アイ・ピー
株式会社イブリオ	株式会社エンボリック	株式会社ケーシーエス
射水ケーブルネットワーク株式会社	オーシャンブロードバンド株式会社	株式会社高知システムズ

会員一覧

コスモメディア株式会社
彩ネット株式会社
さくらインターネット株式会社
山陰信販株式会社
サンコー事務機株式会社
株式会社サンライズシステムズ
株式会社シーエスファーム
GMOインターネット株式会社
GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
株式会社ジェイ・エム・イー
ジェットインターネット株式会社
株式会社Geolocation Technology
株式会社シナプス
セイコーソリューションズ株式会社
株式会社創風システム
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
ソピアフォンス株式会社
ソフトバンク株式会社
ZOROK株式会社
有限会社たけかわ企画
合同会社double A one
ダンボネット・システムズ株式会社
中国聯通日本オペレーション株式会社
合同会社DMM.com
ディーシーエヌ株式会社
株式会社TCP
テラクラウド株式会社
株式会社電算
電通工業株式会社
株式会社TOKAIコミュニケーションズ
トナミシステムソリューションズ株式会社
株式会社トリトン
有限会社ナインレイヤーズ
株式会社長野県協同電算
那須インフォネット株式会社
株式会社NAX
株式会社新潟通信サービス
株式会社西新宿ドットネット
虹ネット株式会社
ニフティ株式会社
日本・アルカディア・ネットワーク株式会社
日本情報システム株式会社
日本ネットワークイネイブラー株式会社
株式会社日本レジストリサービス
株式会社ニューメディア徳島
株式会社ネスク

株式会社ネットアイアールディー
株式会社ネットフォレスト
株式会社ハイネット
PIPELINE株式会社
株式会社ハイホー
BBIX株式会社
株式会社光システム設計
株式会社日立システムズ
ビッグロブ株式会社
株式会社ヒューメリア
株式会社ファミリーネット・ジャパン
株式会社フィックスポイント
株式会社フォーサイトウェブ
株式会社fonfun
富士通株式会社
富士通クラウドテクノロジーズ株式会社
株式会社フューチャースピリッツ
株式会社フューチャーネットワークス
フリービット株式会社
プロックスシステムデザイン株式会社
株式会社北斗システムジャパン
HOYAサービス株式会社
株式会社マイメディア
松本商工会議所
株式会社まほろば工房
有限会社マンダラネット
三井物産セキュアディレクション株式会社
ミテネインターネット株式会社
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク
メディアウェイブシステムズ株式会社
株式会社メディアブリッジ 東京支店
ライド株式会社
楽天コミュニケーションズ株式会社
楽天モバイル株式会社
リコージャパン株式会社
株式会社両毛ビジネスサポート
ワークアップ株式会社

■賛助会員 [6団体]

Office With
株式会社クヌギ
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
サイバーソリューションズ株式会社
特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会
日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

(団体名五十音順) 2021年11月30日現在

今年から行政法律部会長を務めさせていただくことになった野口尚志です。前部会長の木村さんが大変しっかりした部会運営をされていたので、私に務まるかは自信がありませんが、精いっぱい務めさせていただきたいと思います。

私がこの欄に原稿を頼まれたのは2回目で、前は2008年だったようです。その後13年が過ぎましたが、協会活動では相変わらずインターネットの不適切な利用への対応を中心に受け持ってきたように思います。

この間、児童ポルノのブロッキングの問題では、子どもへの虐待の最たるものといえる児童ポルノの流通防止と、これと一切関係のない一般の利用者の通信の秘密という権利の衝突が問題になり、大変困難なバランスを取りながら、ブロッキング対象サイトのリストを管理する団体の発足にこぎつけました。海賊版サイトのブロッキングの問題では、JAIPAが一般向けの声明を出してNHKでも取り上げられるなど、社会でのJAIPAの存在感は増していると思います。また、近年インターネット上の誹謗中傷が大きな社会問題になり、それに関連して発信者情報開示制度の議論が注目を集めました。制度の実際の運用に精通した人が集まるJAIPAの意見を政府の検討の場に伝えていくことで、インターネットを取り巻く法制度を少しでもよくしていくことに貢献できたらと思います。

前は、私が社会に出てから放送大学に入学し、そして卒業したことに触れ、生涯学習の話を書いたと思います。生涯学習ですから当然続きがあるので、その後も通信教育や2部の授業で勉強し、2019年3月に東洋大学法学部を卒業しました（甲子園でも松田聖子の結婚でもありませんが、10年ぶり3回目の大学卒業です）。総務省などの会議はどうしても法律がテーマになることが多いので、法学部で勉強したことは本当に役に立っています。

あわせて、2014年には行政書士、2015年～16年にかけて第一級陸上無線技術士（一陸技）、第一級海上無線通信士、航空無線通信士、さらに今年（2021年）は社会保険労務士（社労士）の試験に合格しました。

日本は主要国の中で、大学等の在学者に占める25歳以上の割合が極端に少ないことが知られています。ほとんどの人は最初に一度卒業して以降、学び直す機会のないまま仕事をしているということです。しかし、国民が何歳になっても学びたいときに学べることは、これからの日本の将来にとって大変重要なはず。多くの人が働きながら何度でも学ぶことが当たり前の社会になってほしいと思います。

私がこのように勉強を続けようと思えたのは、やはりJAIPAのおかげだと思います。他の団体と比べて新しく、全体の年齢層が低かったことはあるかもしれませんが、経験の浅い私が単身で役所の会議に送り込まれたりすることは、JAIPA以外では経験できなかったと思います。また、JAIPAの対外活動は、単に業界の利益のためではなく、インターネットを利用する国民の利益を考えて取り組むことができましたが、これは逆にいえば業界と関係ない、幅広い知識が必要になりました。このような機会がなければ、今さら法学部に行こうとは思わなかったはず。

加えて、JAIPAには技術や知識の向上に努めながら活躍する人がたくさんいます。常任理事を務める鳥根県の横田洋人さんも仕事の合間に勉強して多くの資格を取得されていますが、私が一陸技の取得を目指したのも、横田さんに触発されたことでした。

何より、横田さんのように地方で活躍されている人が多いのも、JAIPAの特徴だと思います。新潟県の本間さん、鹿児島県の竹内さんをはじめ、地元で根差したサービスを長年自前で運用していることは、特筆すべきことです。専門的な知識技能を備えた人材が地方に定着できることは、一極集中を是正して、わが国のバランスのとれた発展につながると思います。

これも今さらですが、昨年（2020年）、子どもが生まれました。

でも、そのことをJAIPAで真っ先に伝えたかった石田卓也さんは、今はもういません。石田さんはJAIPAの立ち上げのときから中心的な役割を果たし、本業では全国を飛び回って各地のプロバイダの技術サポートをしてきました。石田さんがいなければ地方にプロバイダは残らず、JAIPAの姿も今と違って、東京中心のつまらない団体で終わっていたと思います。石田さんが亡くなってから2年半になりますが、今でもたまに石田さんのことを思い出します。

子育てはインターネット以上に不確実性と脆弱性の塊みたいなものですが、裏を返せば、インターネット以上に無限の可能性があるということだと思います。石田さんの名言である「まあ、ちょっと様子見ですねー」「あはは。そのときはそのときで。」といった言葉を思い出しながらやっついこうと思います。

（2021年11月）

EditNet株式会社 野口 尚志

同居の姪っ子は漢字が読めない。
私が言うのもなんだけど、私より読めない。これはヤバイ
ちなみに、今年無事に就職が決まり、4月から社会人である。
ある日のこと、内定をもらった企業より郵便が届いた。
何がきたの？と聞いてみたら、やばいものが来た、と言う。
やばい？何がやばい？
「び、って書いてあるんだよ」と言う。
何がヤバイのだろう……
角2封筒にちょっと固めの紙が入っている。
どきどきしながら中を確認すると、内定書が入っていた。
「えー、内定書だよ、ヤバくないじゃん！」
「だって、び、って書いてあるんだよ」
「び？」
内定書の他、入っていたのは挨拶状である。
「拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます」
び？ び…… び…… え？ び？ って、「お慶び」のびっ？！
そーなのである。姪っ子は「お慶び」が読めなかったのだ。
そりゃあ私も結構な漢字の読み違いはあったけど、「お慶び」は読めたよ？
あとで姪っ子のママに聞いたところによると、どうやら、「お慶び」を「お詫び」
と読んでいたそう。そりゃやばいな…… なんか、やばいね。
そんな姪っ子は来年4月から社会人になります。がんばれ！（T）

JAIPA Express Vol.54

2021年12月25日 初版第1刷発行

発行所 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F
TEL:03-5304-7511 FAX:03-3379-5530
URL:<http://www.jaipa.or.jp/> E-mail:info@jaipa.or.jp

印刷 フジサービス株式会社
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。
■本書掲載記事の無断掲載・放送は堅くお断りいたします。
■乱丁、落丁本がございましたらお取り替えいたします。

© 2021 Japan Internet Providers Association